

市民公益活動を支援します！

eNSuita

市民ネットすいた Civil Network Suita

ニュース

No.23

発行日 2017(平成29)年6月1日

発行所 NPO法人市民ネットすいた

これからも
ラコルタを通じて

住みよい市民社会づくりを!!



「NPO法人市民ネットすいた」は、吹田市立市民公益活動センター(ラコルタ)の指定管理者として、2017年4月～2022年3月の5年間で次のように運営して、市民活動の活性化へつなげます。



1年目

2017年4月～2018年3月

各主体や幅広い世代のつなぎ役となるコーディネーターを「eNカレッジすいた」で養成する。



*「eNカレッジすいた」とはこれから活動をはじめようとする人たちが出会い、学び合うための連続講座です。



自治会をはじめとした地域諸団体などによる地域活動を応援するための冊子を作成して、地域住民が支え合い、安心して快適に暮らすことのできる地域コミュニティの活性化を目指す。

2年目

2018年4月～2019年3月

3年目

2019年4月～2020年3月

行政が公開しているデータ(防災・人口・施設・インフラなど)を市民が活用し、新たなサービスの創出や課題の解決に向けて取り組める環境を整える。



若者を対象に「シチズンシップ(市民意識)」の向上を目指して、考え、学べる機会を作る。

4年目

2020年4月～2021年3月

5年目

2021年4月～2022年3月

10年間の成果をまとめて分析し、次に生かす。



具体的な取り組みについては、次のページへ...



ラコルタ これからの の取組み

持続可能な まちづくりの 実現に向けて

吹田市は、様々な専門性や強みをもった市民や団体が数多く存在し、その力が存分に発揮されることで、地域の力が活かされ、新たなまちづくりが生み出されるという大きな潜在能力を持っています。そういう基盤の中で、地域活動の要である自治会などの地縁団体や社会課題に取り組むテーマ型の市民活動団体などが、その枠を超えて連携し、課題解決の方法を創りあげることによって地域力は高まり、その結果、また新しい地域力が生まれるという好循環を繰り返し、「持続可能なまちづくり」を実現することができます。

「市民ネットすいた」は、1面で述べました概略のスケジュールに基づきながら「市民自治」による「協働のまちづくり」を目指して市民公益活動を促進していきます。ラコルタ第2期事業では、そのために、通常の業務に加えて、特に次の8つの事業に取り組めます。

- 1** **地域課題、社会課題の明確化**
⇒「テーマカフェ」の拡充

困り事から地域課題を明確化し、地域課題の収集および共有を図ります。認識を共有することによって、各主体が自らの課題として解決に取り組める体制を整えます。
- 2** **担い手の育成**
⇒「eN カレッジすいた」の
取り組み

まちづくりの担い手や後継者不足に対応するため、まちづくりに関わる人材を育成するとともに、参加者から担い手へと育つための仕組みをつくります。
- 3** **コーディネーターの育成**
⇒「eN カレッジすいた」
修了生を対象に

効果的な協働の実践のためには、各主体や幅広い世代のつなぎ役の存在が不可欠であり、それぞれの特徴や課題を的確にとらえられるコーディネーターを育成します。
- 4** **組織の強化**
⇒コンサルティング機能
の充実

協働によるまちづくりには、各主体が自立・連携するための組織の強化が必要です。団体運営のコンサルティングや多様な主体との連携や情報交換等の機会を拡充します。
- 5** **資金調達の多様化**
⇒活動の継続性を
確保する

活動の拠点となる場の確保や既存の助成金等に加えてさまざまな資金の活用、ビジネス的手法を活用したコミュニティビジネスなどの可能性を検討します。
- 6** **政策形成過程への参画**
⇒研修の場を設ける

市民が主役となってまちづくりを進めるために、市の政策の企画・実施・評価等の各過程に市民が積極的に関わっていくことが求められ、そのための研修の場を設けます。
- 7** **さまざまな主体の交流促進**
⇒団体交流会、協働マッチ
ング等による異分野交流

地域や分野を超えた主体間交流および地域課題の解決の場をつくります。また、地域の拠点施設における交流の機会を拡充します。
- 8** **情報の受発信**
⇒web コンテンツの充実

市民公益活動に関する情報や地域課題の解決手法の発信、および、他の主体の情報や活動事例の活用、行政の公開データを市民が活用出来る環境を整えます。

NPO法人市民ネットすいた
会 員 紹 介

誰もが安心して暮らせる社会へ



一般社団法人 Linkage
代表理事小西 靖基

昨年、「在宅医療」を知っていますか？家で最後まで療養したい人に」というテーマで5月と11月にイベントを行いました。各回3名の実務経験豊富な講師をお呼びして、目の前にある不安、悩みが少しでも解決できればと講演を行っていただきました。2回で約150名の方に参加いただき、現在も医療・看護・介護の多職種連携研究会として勉強会を開催しています。

この団体を立ち上げたきっかけは、私が海外で生活している時に直面した「困ったときに相談する場所がない」ことでした。言葉が通じず相談出来る場所がない、どこに行けば良いのかもわからない不安について話をしていると、介護や育児でも同じような状況が多々あるということを知り、誰もが安心して暮らしていくための仕組みを作る必要を強く感じました。

私達の見ているゴールは、自立を支え、助け合う仲間作り。その「きっかけ」として、学ぶ場を作ることが役割です。悩みや不安といった、それぞれの課題を持って集まった人々が繋がり、次の行動へと移せる機会を作ることです。

平均寿命が80歳を超えた現在、仕事を引退してからの長い生活、生き方が大切になります。一人一人が年齢に関係なく学ぶことで、今を楽しみ、行動していく社会が理想です。そして、それをお互いが認め合い、足りない所を補い支え合う社会が実現できればと願っております。



新連載！市民活動用語解説 「それってなんなん？」

Vol. 1



「指定管理」
ってなんなん？

「ラコルタ」のように公の施設の管理運営をNPO、市民団体、企業などが市に代わって行う制度。「民間の質の高いノウハウを活用する」、「多様な住民ニーズに対応できる」などの理由で、コミュニティ施設や文化施設、スポーツ施設などが、市が指定した団体によって管理運営されている。

※吹田市立市民公益活動センター（ラコルタ）は、NPO法人市民ネットすいたが、吹田市より指定管理を受け管理・運営をしています。



「餅は餅屋」で、一番市民のためになるところに、運営を任せるってことなんだね。

そうだね。だからラコルタは市民ネットすいたが指定管理を受けているんだよ。

知っているようでホンマはわからん！
今さら聞けない…あなたのために、こっそり解説！

今回は身近な例として市民体育館取材してみました。

「どうして市民体育館にミズノのシャツを着た人がいるの？」そう思ったことはありませんか？

吹田の5つの市民体育館は、吹田市体育協会とミズノ、南海ビルサービスグループが指定管理者として管理・運営を行っています。吹田市体育協会は、地域と密着した運営のノウハウを利点に、ミズノはスポーツに関する専門性を強みとして、共に市民のニーズに応じた良質のサービスを提供。市民にとって慣れ親しんだ従来通りの利用システムを継続しつつ、クライミングやノルディックウォーキングなど、人気の教室も充実しています。

人気のクライミングウォールとバウフルスタッフ



*取材協力：片山市民体育館
Tel.06-6389-2681

*参考文献
総務省ホームページ
http://www.soumu.go.jp/main_content/000096783.pdf
吹田市ホームページ
http://www.city.suita.osaka.jp/home/soshiki/div-gyoseikeiei/kikakuzaisei/_69115/_69132.html

CNSサテライト 栄えるカフェ IN 吹田

6月の行事のご案内

- 3日(土) 9:30～ みくまりカフェ
- 7日(水) 9:30～ ミラクルマジック
- 16日(金) 14:00～ がんサポートカフェ
- 17日(土) 15:00～ *お笑い講座
- 19日(月) 10:00～ 婚活親カフェ
- 25日(日) 10:00～ *和(子ども生花)
- 27日(火) 19:00～ コミ亭居酒屋

注)太字はオープンです。*印は事前申込が必要です。
最新の情報はブログをご参照ください。

<http://ameblo.jp/sakaefamima/>

「栄えるカフェ」登録団体のご紹介

吹田の空襲を語り継ぐ会



2014年11月発足。「戦後70年、私らにできないのかな?」いつもの飲み会メンバーの一人の言葉がきっかけでした。

戦争体験を語れる方が、もう数少なくなっている今、わたしたちの町で起こった戦争の記憶を引き継いでいきたいと活動しています。

主な活動は、市内の空襲あとを巡る「まちあるき」、イベントなどでの「朗読劇 忘れない吹田空襲1945」の出前公演、空襲体験者からの「聞き取り」と、栄えるカフェなどでの会議(通称：おまとめ会)

●6月7日(吹田空襲の日)午後7時から
千里市民センター多目的ルーム(8F 南千里)にて「忘れない吹田空襲1945」として、講師に大前治氏を招き「作られた安全神話」を通して平和について学習します。

申込み問合せ:090-8194-5454(ゆうこりん)

E-Mail:donbura-kokko@mail.goo.ne.jp(真木)。

編集後記〇中間支援団体である市民ネットすいたが果たすべき役割は、ラコルタの指定管理者としての活動だけではありません。私たちの活動を如何に伝えるかについて編集会議や理事会で論議しました。読者の皆様に読みやすく興味を持って頂ける紙面になっていれば幸いです。(金指)

「栄えるカフェ」登録団体交流会報告

4月25日午後7時より【栄えるカフェ登録団体交流会】が開かれました。1Fのファミリーマートで好みの「晩ごはんデザート」「お酒と肴」を購入し、2F イートインでスタート!



今回は11名の参加者が揃いましたが、濃厚な?! 団体 & 自己紹介で大変盛り上がり、それぞれの団体のイベントに「これ、参加したい!」「コラボしませんか?」など、具体的な「つながり」が生まれました。

参加登録団体は:吹田ホスピス市民塾・みくまり・吹田の空襲を語り継ぐ会・吹田歴史文化まちづくり協会・吹田傾聴ほほえみ・落語の「ら」(順不同)



総合計画市民ワークショップ

「みんなで考えよう!吹田の未来」

5月14日(日)、千里市民センター大ホールにて、吹田市が開催。講師として「市民ネットすいた」の長谷川が「出来ることから始めよう、協働のまちづくり」と題して話しました。市民自治基本条例が制定されて10年経っても協働が進んでいない現状を踏まえ、どうすれば市民力のある吹田になるかを自分が経験してきた活動を通して、施策の提案をしました。



ワークショップの様子